聞　平成１７年（2005年）６月１０日（金曜日）

ふるさと人　話題

オープン5周年で新企画も

ザ・ハミルトン札幌　大野社長が来社

札幌の中堅ホテル「ザ・ハミルトン札幌」＝札幌市中央区南1条西15丁目＝がオープン5周年を迎え、大野修社長が新規企画のキャンペーンのため9日釧路新聞社を訪れた。大野社長は元JAS釧路支店長。

同ホテルはシングル、ツインルーム中心に105室。円山公園や道立近代美術館に近く、付近には札医大付属病院やNTT札幌病院などがある。

大野社長は「札幌のホテル業界は新規ホテルの進出の中で激しい価格競争にさらされている。昨年は沖縄にコンベンション（学会・会議）が持って行かれ、今年は愛知万博が脅威だ。ホテルとしての特徴をアピールしていくことが大切だ。ハミルトンは〝わが家のようなホテル〟を目指しており、スタッフは13人だが、外国客の対応など万全を期している」と述べた。

本社を訪れた左から畠山さん、大野社長、クレイグさん

新しくオーストラリア産のハーブティ「レモンマートル」（関連商品＝リップクリーム、入浴剤、マッサージオイルなど）を扱うネットショップをホテル内に開いたほか、ヘアサロンもオープンした。畠山志緒さんとレモンマートル専門店のクレイグ・パークヒル店長が同行した。

（伊藤豊）